

九州・沖縄地区の12月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比11.4%減、佐賀県は0.4%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、12月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比11.4%減の合計69万7,810m³。

12月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比4.1%減の23万9,108m³、「佐賀県」同0.4%増の2万8,832m³、「長崎県」同12.8%減の5万4,647m³、「熊本県」同24.2%減の10万2,032m³、「大分県」4.8%減の7万1,578m³、「鹿児島県」同23.3%減の8万2,270m³、「沖縄県」同7.8%減の11万9,343m³。佐賀県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比4%減の201万6,242m³、「佐賀県」同6.4%減の23万5,956m³、「長崎県」同12.9%減の49万1,761m³、「熊本県」同15.9%減の89万223m³、「大分県」4.5%減の57万859m³、「鹿児島県」同15%減の68万4,204m³、「沖縄県」同6.3%減の99万2,186m³。九州6県と沖縄すべて昨年より減少した。が好調に推移している。